

文化祭

9月22日(金)



学園祭での成長

今年、飛島学園祭を通して、自分の成長の一つにつながったと感じることは、生徒会企画です。どのようにすると、見

九年A組 佐藤 克樹

最後の学園祭

九年A組 山本 唯

ブロック長をしていて一番感じたこと。それは、「感謝」です。私一人の力ではできなかったものをつくりあげることができたからこそ、ブロック長をつとめあげることができたと思います。ブロック練習では、「歌がひどい」「行進や応援演技も大丈夫かな？」と周りの人から言われたこともあり、すごく不安になった時もありました。そんな時も、ブロックの仲間が「大丈夫だよ」と優しく声をかけてくれたおかげで、立ち直ることができました。



入場行進や綱引きでは、一年生から九年生まで、一人一人が声を枯らしながら全力で取り組んでいて、とてもパワーが伝わってきました。トリオ種目では、バディで協力し合い、ブロック全員が一丸となって競技をすることができました。競技中も、応援席からの熱い声援があったからこそ、すばらしい結果につながったのだと思います。応援演技は、夏休みから練習が始まりました。9年生どうしで意見を出し合ったり、悩んだりしながら進めてきました。本番では、無事に成功させることができ、本当に嬉しかったです。私はブロック長を務めて、互いに励まし、協力し合いながら、全員でつくりあげる体育祭の素晴らしさを、改めて肌で感じる事ができました。そして、私たちに与った最後となった、この体育祭を、一生の思い出として、大切に胸にしまっていきたいと思っています。

飛島学園 11月の行事予定

1日(火)	実力テスト④
4日(土)	海部地区駅伝大会④
5日(日)	ふるさとフェスタ芸能祭参加④⑤⑥
6日(月)	代休④⑤⑥
8日(水)	海外派遣・広島派遣報告会 6年～9年④⑤⑥
9日(木)	初等部文化祭④
10日(金)	中部電力見学会 6年④
20日(月)	福祉実践教室 4年～7年④⑤⑥
27日(月)	期末テスト 5年～9年④⑤⑥
28日(火)	期末テスト 7年～9年④

体育祭

9月23日(土)



学園祭を終えて

九年A組 小林 大晟

僕は今年、飛島学園での最後の学園祭をむかえました。僕たちレッドブロックは、「九年生が中心となって、下級生に的確に指示を出して無駄な時間をつくらないようにブロック練習をする」ことを目標としてやってきました。最初は、九年生も初めての経験なので、上手に指示が出せず、涙を流した場面もありました。しかし、誰一人として弱音を吐くことはありませんでした。

総練習から、ブロックのみんなが全力を出して、「勝利をつかみ取るんだ」という強い意志を感じることができました。これなら勝てると信じ続けて本番をむかえました。レッドブロックは、元気がとりえなので、体育祭が始まると同時に大きな声で仲間を応援し、一つ一つの競技でブロック全員が一致団結して、最高の体育祭にすることができたと思います。最後の解団式では、九年生一人一人が思い思いの言葉で気持ちを伝えました。その思いが、来年の学園祭を後押しすることにつながってくれるといいなと思っています。

最後の学園祭。思い残すことはありません。クラスでも、合唱で最優秀賞をとり、連覇できたことは本当にうれしかったです。学園祭本番までには、大変なことがたくさんありましたが、将来にも役立つことをいくつも学ぶことができたと思います。僕にとって最後となる学園祭を、こころで良いものにしてくれた仲間や下級生、そして、先生方や家族、村の方への感謝をこれからも忘れません。



皆でつくりあげた体育祭

九年A組 木下 七海

私は、今年の体育祭で、ブルーブロック長として、「皆さんをまとめ、盛り上げ、楽しませる！」という目標に務めさせていただきました。

諦めない事

九年A組 貴林 星羅

僕は諦めることが嫌いだ。僕にとって、この学園で最後となる今年の学園祭では、「やれることは、全てやろう」と最初から決めていた。四月から準備をしていた一芸SHOWのダンス。生徒会企画のシナリオづくり。ブロック合唱の指揮者。そして、ブロック長としての応援演技の振り付け。準備を進めていく中で、やるべきことが多く、容量オーバーで頭がパンクしそうになり、気持ちが落ち込んだこともあった。もしかしたら、自ら「やる」と引き受けたものの、全て中途半端な結果になってしまうのではないかと、途中で悩んだこともあった。しかし、何度も練習する中で、ブロックみんなの協力を感じ、少しずつ完成の形が見えてくると、不安に感じていた気持ちも、不思議と無くなっていき、ポジティブな気持ちへと変わっていった。

